



行政視察内容報告書

平成30年 3月 29日

土佐清水市議会議長
仲田 強 様

会派名 清友会

(提出者) 氏名 浅尾 公厚



下記のとおり報告します。

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	仲田 強・森 一美・細川 博史・浅尾 公厚 計 4 人
期日	平成 30年 1月 10日 から 平成 30年 1月 12日 まで
【概要】	(年月日・場所・内容) ○ 視察先： 和歌山県日高郡みなべ町 稲むらの火の館 ○ 目的： 和歌山県内自治体の防災対策 ○ 内容： 別紙報告書のとおり 1 和歌山県みなべ町 1月11日午前10:00~11:30 みなべ町における防災事業の状況 ハード事業 現在の状況 経費 設備の見学 2 各所の防災施設の見学 1月11日午後1:00~午後4:00 立地場所と建物 施設の規模、構造 午後4:00~4:30 稲むらの火の館見学

【所感】

1 みなべ町での説明会

みなべ町のこれまでの取り組みと防災対策について説明を受ける。

講師はみなべ町総務課課長、防災担当係長様が、地形・湾の形をパワーポイントを使い詳細にわたり説明をしてくださいました。

みなべ町は本誌と同様太平洋に面し、津波の高さも14mの予想との事

町中心部は浸水地と予想されているとの事、ほぼ中心に3階建ての避難タワーが建設されていた。3階部分は、冷暖房完備で会議所、コミュニティー場所として設計したと、説明を受ける。

町の関連施設の多くは町の中心部に有り、高台移転の計画中。また避難場所を高台に建設計画中と言う。研修を受けながら思う。早急に対策、取り組みを。

2 各箇所の防災施設の現地視察

美浜町

沿岸から少し離れた所に盛土をし高台避難場所を建設。2,000人収容可能との事。これから避難倉庫、避難トイレ、貯蓄水槽を作る予定であると説明を受ける。

日高川町

川沿いに走る国道には、土砂崩れ防止壁を数キロ設置、二重壁箇所もあった。護岸工事は、生態系を壊さないようにと、古い建造物はそのまま置き数メートル後方に新たに堤防を作っていた。建設中の防災拠点センターは高速道路沿いにある、災害発生時には高速道路から物資搬入をできるようにしていると、説明を受ける。

本市にも早く高速道路建設をとつくづく思った。

3 広川町稲むらの火の館

先人からの言い伝えは、長く強い地震の後には必ず津波が来ると。財をおしまず住民を救った庄屋さんの話について当時の資料や映像を見る。現在8カ国の言語に訳されており、外国からもたくさんの方が入館しています、と説明を受ける。

4 今回の研修から得たもの

- ① 先人の言い伝えは忘れるべからず。
- ② 地震、逃げるを、住民にこれからも強く周知していかなければと。
- ③ 防災施設は可能な限り設置を。

等、市民とともに被災者を出さないよう努力をしていきたい。

研修に協力していただいた、みなべ町の方々に感謝申し上げます。